



ROPE CLAMPS
クライミングテクノロジー
ロープクランプ



MADE IN ITALY
EN 12841:2006-B
EN 567:2013
89/686/CEE
個人用保護具
特許取得

**クライミングテクノロジー
ロープクランプ共通取扱説明書
クイックアッププラス / クイックロール**

製造元：イタリア・アルデザイン社
(商標名：クライミング・テクノロジー)
輸入販売元：イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀 4-12-20
電話番号 03-3555-5605
イタリア製 主な素材：アルミニウム合金

Notified Body that performed CE check:
apave NOTIFIED BODY "0082"
CS 60193
SUDEUROPE SAS MARSEILLE CEDEX 16 FRANCE

Notified Body that controls production:
afaq AFNOR CERTIFICATION
ISO 9001 NOTIFIED BODY "0333"
Qualite 11, rue Francis de Pressensé 93571
AFNOR CERTIFICATION La Plaine Saint-Denis Cedex, FRANCE

LABEL

表示内容

- 危険** : 人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。
- 警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
- 注意** : 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。
- 禁止** : やってはいけないことを表しています。

ご使用に際しての注意事項<必ずお読みください>

この取扱説明書は、本製品を登山、クライミングで正しく使用するための注意事項が書かれています。誤った使用方法、不適切な使用法は、死亡または重傷を負う恐れがあります。この器具を使用する人は、使用法を習熟しておく必要があります。使用者は使用法（器具の使用法および安全確保に関する正しい措置）についての十分な習得が必要です。多くの誤った使用法がありますが、この説明書にはその誤った使用法を一部のみ図解しています。本取扱説明書に記載のある正しい方法でのみ使用してください。他の方法による誤った使用法は禁止いたします。使用者はクライミング、岩登り等での実際の使用における生命および身体に対するリスクをあらかじめ認識してください。正しい使用法を習得しない、またはリスクを認識しない人、登山、クライミング全般に対する知識を有しない人や安全確保を行えない人は、本製品を使用してはいけません。製造元、販売店、輸入代理店は、誤った使用法や不適切な使用法に起因するすべての事故に対し一切の責任を負いません。

本取扱説明書は、登山、アルパインクライミング、スポーツクライミング用品の正しい使用法などについて説明を行うものです。それらに関する専門用語が用いられています。語句の内容が理解できない場合は本製品を使用せず、まずクライミング講習等を受講してください。またクライミングには安全を確保するための正しいロープワークが必要です。これらが行えない場合は危険ですのでクライミングを行わないでください。また、クライミングは、クライミングについての知識や技能、およびその安全確保について十分な知識を持ったクライミングパートナーと一緒に行ってください。

はじめにお読みください

登山、クライミングは一般的に他のスポーツに比べ、リスクの高いスポーツです。クライミング用品を使用しても登山、クライミングには潜在的な危険が伴います。ご自分自身の安全のため、クライミングを行うかどうかの判断はご自分で下してください。本製品を使用する前には必ず本取扱説明書をよく読み、本製品の特徴や注意事項をよく理解して使用してください。実際の使用前には本製品の使用方法に十分に慣れることが必要です。また、クライミングに際しては安全確保に対する幅広い知識が必要であることを認識し、考えられうる事故に備えなければいけないことを考慮してください。

この取扱説明書はご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる所に保管してください。最新の情報や、その他の補足情報、及びその他の言語での取扱説明は、www.climbingtechnology.comにて確認してください。

警告 本説明書の正しい取扱方法に従わない場合、死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。

対応ロープ径

	STANDARD EN 567:2013	EN 892 - Ø 8~13 mm EN 1891 - Ø 8~13 mm
	STANDARD EN 12841:2006-B	ROPE EN 1891-A ● Ø 10~13 mm

破断強度

	EN 1891 - EN 892	
Ø 8 ~ 10 mm		最大 100 kg
Ø 10 ~ 13 mm		最大 140 kg

警告 登山、クライミングの前または最中には、アルコール、向精神薬、その他、知覚・認知、バランス感覚、集中力に悪影響を与える食品や薬品等の摂取を行わないでください。

注意 説明書は見やすさを優先しており、素手で表記してあります。実際の使用に際してはクライミングのビレイ用手袋等を使用し、手を保護してください。

商品の定義

本製品は、ヨーロッパノーム（欧州基準）で規定された EN 567:2013/ マウンテナリング用ロープクランプ、および EN 12841:2006-B/ ロープアクセスシステム用ロープ登高器です。それぞれに適合したロープ（ページ1を参照）を必ず使用してください。



警告 クイックロール製品に内蔵された引き上げ装置（プーリー）は個人用保護具（PPE）ではなく、図6で示す用途のみ使用可能です。

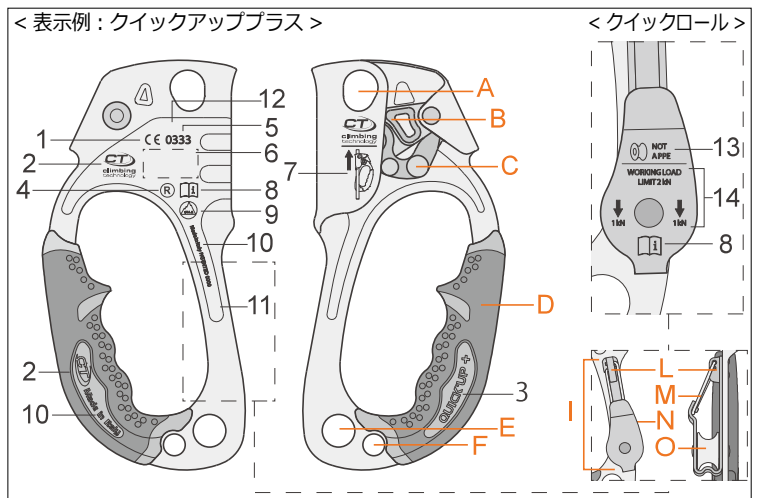
1. 各部の表示と名称

表示（図1）

以下の情報が表示ラベルには記載してあります。

1. 欧州の品質基準に沿って製造したことを示す CE 認証マーク、2. 製造者またはその商号（CT ロゴ）、3. 製品名、4.R または L（R は右手用、L は左手用を示す）、5.CE の認証機関番号、6.EN（ヨーロッパノーム）認証番号、7. 登高する方向、8. 使用者は取扱説明書を読み使用方法について熟知する必要があることを示す図、9.UIAA の基準に適合していることを示す UIAA の文字、10. 生産国、11. 生産バッチ番号、12. シリアルナンバー（AAAA-DDD-YY）、13. プーリーが個人用保護具として使用できないことを示す注意書き、14. プーリーの最大運用荷重

図1 表示と各部の名称



各部の名称（図1） A- ダブルアッパー SLOT、B- カム、C- 開閉レバー、D- グリップ、E- ロウースロット、F- ブラケット用スロット、I- プーリーアッセンダーシステム、L- レバーサポート、M- レバー、N- ボディ部、O- プーリー

トレーサビリティ 本製品には追跡番号（AAAA）、製造日（DDD）、製造年（YY）からなるシリアルナンバー（AAAA-DDD-YY）が図1の12の位置に記載があります。

2. 使用方法（クイックアッププラス、クイックロール共通）

2.1 使用前点検 本製品および一緒に使用されるすべての用具が最善の状態であることを確認してください。磨耗がひどかったり、ひび割れや錆び、亀裂が入っていたり、カムの動きとスプリングの状態、カムの歯が磨り減ったり、欠けていないか、カムがセットしたロープを正常にロックする状態にあるか、スロットにセットしたカラビナは回転できるか、カラビナのロックが行われているか、確認してください。使用するロープについては、磨耗、融解した跡、切れ、糸飛びがないか必ず確認して異常のないものを使用してください。

クイックロールの場合は、プーリーが回転できること、レバーが正しく開き自動的に正しい位置に戻ること、ボディ部がアッセンダー本体から外れそうになっていないか、を確認してください。

2.2 使用中点検 いつもロープがデバイス内の正しい位置にあるか確認してください。ロープが凍っていないか、泥が付いていないかを確認し、カムの動きを阻害するような異物がないか注意してください。登高システムを構成するその他デバイスやカラビナの正常な作動を確認し、衝撃荷重が器具にかかることを防ぐためロープを常にテンションがかかった状態に保つ必要があります。

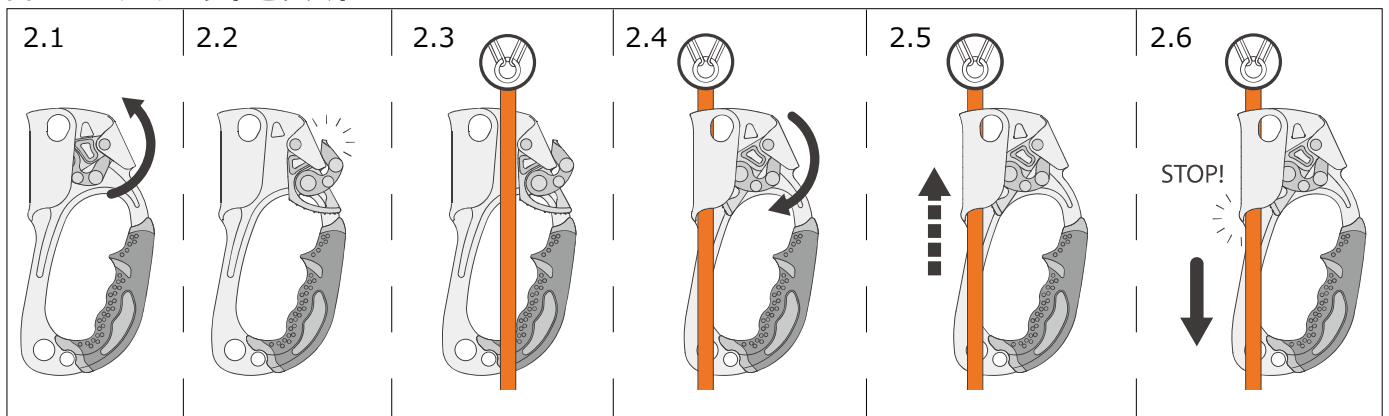


警告 製品の本来の用途以外での使用や、破断強度を超える荷重をかけることはやめてください。

2.3 ロープのセット 開閉レバーを操作しカムをオープンにし、図2.2のようにレバーを本体側面に掛けるように固定してください。ロープを図2.3のようにセットし、開閉レバーを戻して（図2.4）カムをロープに当ててください。

2.4 テスト 製品が正しくセットされているかどうか、実際に上下に動かしテストしてください（図2.5-6）。製品をロープから外す際は、荷重を製品からぬいて、開閉レバーをオープンにしてください。開閉レバーがロープに引っ掛かる場合は、製品を上にはずらしながら開閉レバーを操作してください。

図2 ロープのセットとテスト



2.5 登高方法 製品は上方向に動かし、ロープ上の任意の場所でロックさせることができます。図 4.3 のような持ち方ではなく、正しくグリップを持つ (図 4.1) ようにしてください。ただし、ロックさせるためにロープは常に垂直に保ち、製品をロープと平行に下方に引く (図 4.2) 必要があります。

図 3 ロープクランプとアンカーの位置

<p>危険</p>	<p>アンカーやロープの固定位置に近づいた場合は、注意してください。アンカー部よりさらに上に登って落下した場合、墜落距離が墜落をとめるロープより長くなり衝撃が大きくなり大変危険です。落下した場合は、ロープが切断する恐れがあります (図 3)。またアンカーの近くで留まる場合は、本製品ではなく、ロックングカラビナ等でセルフビレイを行ってください。</p>	
<p>危険</p>	<p>垂直ではないロープを登る場合は、必ずロープと一緒にダブルアッパースロットにロックングカラビナを通してロープがカムに干渉しないようにしてください (図 4.5)。垂直ではないロープを登高するときは、ロープがカムを押し下げ、ロープが脱落する可能性があります。</p>	
<p>警告</p>	<p>本製品は登高をサポートするものであり墜落を防止する器具ではありません。墜落を防止するため、他の EN567 に準じたデバイスをバックアップとして一緒に使用してください。</p>	

図 4 ロープのセットとテスト

<p>4.1</p>	<p>4.2</p>	<p>4.3</p> <p>禁止</p> <p>本体上部を握らないこと</p> <p>警告</p>	<p>4.4</p> <p>禁止</p> <p>横方向に引かないこと</p> <p>危険</p>	<p>4.5</p> <p>重要</p> <p>垂直でない登高時はロックングカラビナをセットすること</p>
------------	------------	---	--	---

2.6 特許機構 (図 5) 本製品は完全に荷重を抜け切っていない状態であっても、カムをオープンにする機構を備えています。開閉レバー内の図 5 で示した箇所を矢印方向に押し下げると、カムがロープから少し離れるためロックが解除され、製品をずらすことが可能です。この方法に必要な押し下げる力は、製品にかかる荷重に比例します。しかし、大きな荷重 (例えば使用者の体重など) がかかっている場合は、この方法ではカムは開きません。また過剰な負荷がかかった状態でこの方法を使ってリリースする場合は、ロープが多少のダメージを受ける可能性があります。

図 5 特許機構

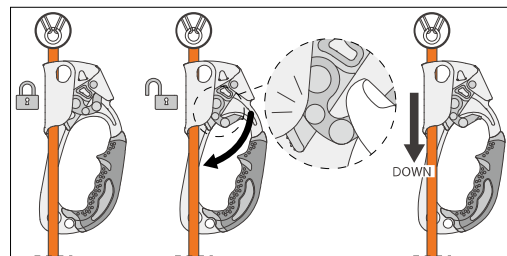


図 6 クイックロールの使用例



3. クイックロールのプーリーの使用方法

クイックロールは、ロープアクセスやケービングで使用できる固定式プーリーが付属しています。ケービング等で使用できる方法として、チェストアッセンダーと組み合わせた方法 (図 6) があります。

図 7 禁止事項

<p>危険</p> <p>付属するプーリーは個人用保護具 (P.P.E) ではありません。そのため登高用の補助としてのみ使用が可能で、プーリーを使っての人や物を引き上げる使用方法は禁止しています (図 7)。</p>	<p>危険</p> <p>禁止</p>
---	-----------------------------------

4. EN 12841 type B について

本製品は作業ロープの登高用として、EN12841 タイプ B に適合しています。個人用保護具 (PPE) として、ロープアクセスにおいて、使用することができます。フォールアレスト (墜落防止) としては使用することができません。必ずタイプ A の器具をバックアップロープにセットしたバックアップシステムを構築した上で使用してください (図 8)。最大使用荷重 140kg です。

注意 作業ロープにバックアップ器具の荷重が掛からないようにしてください (図 8)。

警告 鋭いエッジ等がない EN795 規格に準じたアンカーポイントのみ使用可能で、EN1891 タイプ A に適合した直径 10~13mm のセミスタティック (コア + シース) を使用する必要があります。(認証テストでは Teufelberger Patron PLUS10mm, Edelrid Rescue Static 13mm が使用されました。)

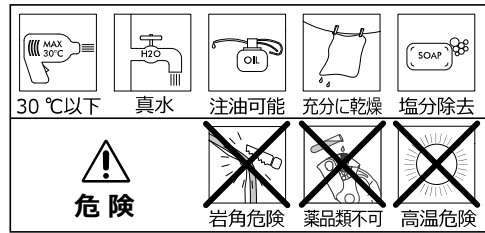
警告 器具への衝撃過重を避けるため、アンカーポイントと器具の間のロープは弛ませず、常にテンションがかかった状態を保ってください。使用中はランヤード + コネクター + 器具の長さが 1m を超えないようにしてください。作業中は常にハーネスの器具の接続部分がアンカーポイントより下になるようにしてください。またロープの汚れや湿気、氷結や繰り返しの使用などにより、ロープと接続している器具の使用感が変化することがあります。

図 8



5. その他一般注意事項

メンテナンス: 本製品に腐食やその他のダメージが見られる場合は廃棄し、新しいものに買い換えてください。汚れは使用のつどに落とし、必要に応じてきれいな真水で洗い流し、水をやわらかい布で拭き取り、よく乾燥させてください。海岸付近で使用した際には塩分を良く落とすことが必要です。ロープにダメージを与えないよう、器具の表面は常にバリ、傷、砂等の付着がないことを確認してください。本製品に改造を加えないでください。改造は本製品の本来の機能を損ないます。使用するロープに、切れ、織り糸の緩み、融解の跡、その他の痛みがないか確認をおこなってください。使用前点検に加え、1年に1回 (海の近くで使用された場合はさらに高い頻度で) は詳細な点検を行う必要があります。なお、この点検頻度は使用状況によって変わります。なるべく使用開始から1年での買い替えをお勧めします。異常が見つかった器具は使用を中止し、廃棄してください。強い衝撃を受けた場合、墜落した物や人の衝撃を受け止めた場合は、器具の見た目に影響がなくても器具を買い換えてください。汚れた場合は中性洗剤を使用して洗い、きれいな真水でよくすすぎ、水分をやわらかい布等で拭き、直射日光や熱源を避けてよく乾燥させてください。



6. 保管と持ち運び

傷つき防止のため、他のものと分けて保管・運搬してください。保管の際は汚れを落とし、よく乾燥させた後、冷暗所で行ってください。高温になるところ、化学薬品、腐食性の物質等に触れる恐れのあるところには絶対に保管しないでください。本製品にダメージを与えるような他の鋭利なもの、硬いものと一緒に保管、運搬しないでください。濡れたまま保管しないでください。塩分を含んだ空気に触れないようご注意ください。その他器具を傷めないよう運搬には細心の注意を払ってください。特に夏季の車内は高温になりますので、車の中に放置しないでください。直射日光にあたる場所には保管しないでください。

7. 製品寿命

製品寿命は使用の頻度や使用方法、保管状況によって異なります。また、大きな衝撃を受けた場合、使用時の気候等、その他多くの要因によって変わります。適切なお手入れと保管と運搬は製品を長持ちさせます。製造から10年経った製品は、ダメージがなく劣化していないように見えても買い換えるようにしてください。また、クライミング技術は常に新しい理論と実技が適用されます。クライマー、ビレイヤー等、本製品の使用者は安全確保に対し常に新しい情報を入手し、正しく安全な方法で登山、クライミングを行ってください。本製品の使用者は、使用前、使用中、使用後には必ず本製品、また本製品と一緒に使用するクライミング用品が正常に機能することを確認してください。また毎年最低1回 (頻繁に使用した場合、過酷な状況下で使用した場合はさらに短い期間において) は、クライミングインストラクター等の有資格者から、本製品の使用方法が適切か、器具が正常に機能し、安全を確保できる状態にあるかのアドバイスをもらい、確認を行ってください。なにか製品に不具合が生じていると思われる場合は、本製品を廃棄し、新しいものに買い換えてください。

8. 保証について

本製品の製造またはその素材に起因する不良については三年間の保証が有効です。お買い上げいただいた際のレシートは製品の保証書の代わりになるものですので、必ず本取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

次の場合、保証は有効ではありません: 1. お買い上げ後の不適切な輸送、移動時の取り扱いが不適切なために生じた故障・損傷 2. 通常使用で発生する傷、磨耗、コーティングのはげなどの外観上の変化 3. 不適切な保管方法や誤った使用方法や不注意によって起因した故障・損傷 4. 改造、不当な修理による故障・損傷 5. 火災・地震、水害、その他天災事故による故障・損傷 6. または前述の事項に準じたその他の要因によるもの

本取扱説明書には著作権があります。ご自分の予備としてのほかにはイワタニ・プリムス株式会社の許可なしに複製、公開することはできません。

ロープクランプ取扱説明書
発行日 2018年3月15日
発行者 イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀 4-12-20
電話番号 03-3555-5605 RC1